

第3回「青森駅自由通路に関するワークショップ」
各班の発表シート概要

1班

案1

- ・白い壁だと展示はしやすい
- ・展示を考えると案1だが、使い続けるのは難しい
- ・案2、案3と比べて暗いかんじ
- ・スポットライト等は設置される？
- ・展示がないとブサイクなかんじ
- ・Aファクトリーっぽい
- ・立体の作品置けない

案2

- ・木目が好き!!
- ・りんご箱青森らしい
- ・何もしないならりんご箱かわいい
- ・りんご箱はかわいい、でも展示するととなると作品のじゃま

案3

- ・船の屋根はざんしん
- ・黒の壁かっこいい
- ・ワラッセっぽい
- ・赤い壁は展示するとなると作品のじゃま
- ・西口は人少ないし暗いので壁が暗いとよけい暗く

貼りものについての話し合いだけでなく、使い方についての話し合いをしていきたい！！

250m美術館を実現するにはニッチが必要になる(ゾーニング)

- ・作品展示するなら年1回グランプリを決めるなどのしくみが必要
- ・構造は3案一緒 使える通路にするには展示をするには壁にニッチが必要
- ・床がスケルトン 線路が見えたらおもしろい
- ・壁にニッチの部分がないので展示に面白味がない
- ・外観重視(案3)か内観重視(案2)か
- ・250m美術館としては？
- ・自転車を通したい。人と自転車を分ける工夫をしては

発表のポイント

- ・どれかの案に絞り込むことはできなかった
- ・どのように通路、空間を使っていくのかという事を話し合わないといけない

2班

案1

外: 汚れやすい?

内: 壁が陳腐

案2☆

外: 木の素材感が
イイ、開放的でイイ
(ガラス面が広い)

内: リンゴ箱の感じ
がおもしろい!(大
小凹凸)

案3

外: 連絡船(八甲田
丸)のイメージを残
すのも良いと思う

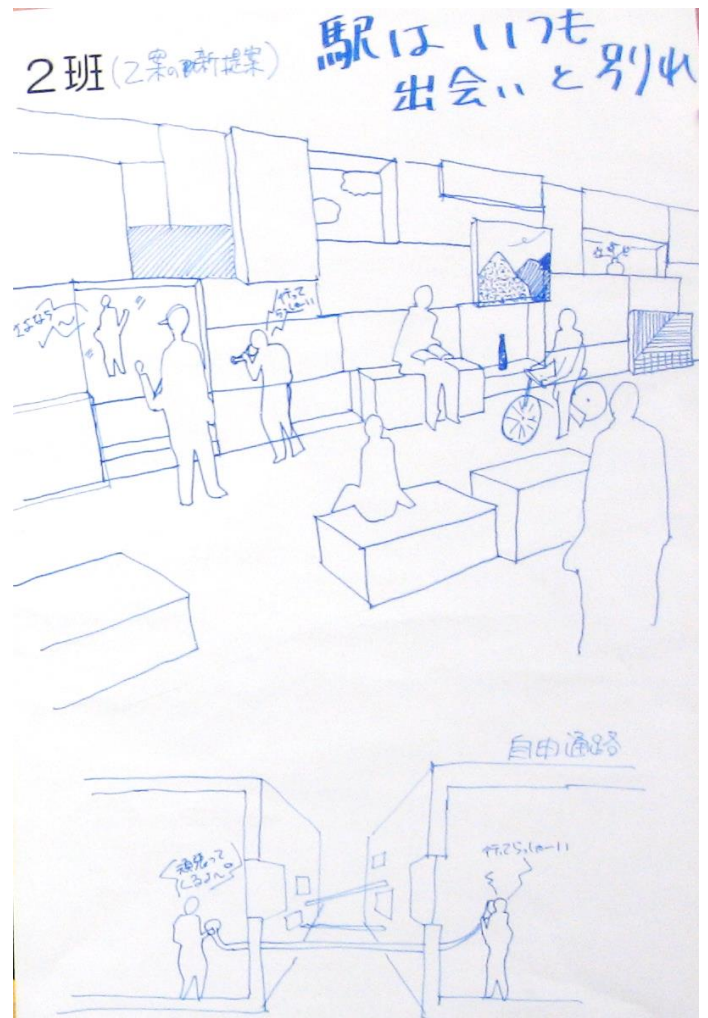
内: 落ちついていて
良い、展示物との
相性がよさそう

海側の窓が小さい

駅はいつも出会いと別れ

駅通路とのやり取り(出会いとわかれの演出)

- ・市役所の情報発信
- ・観光情報発信
- ・自転車
- ・車止め
- ・液晶ビジョン→映像コンテンツ
- ・ガラス多め
- ・照明
- ・春(桜)、夏(ねぶた)、秋(紅葉)、冬(スキースノーボー樹氷)
- ・シースルー
- ・オブジェ(待ち合わせ)
- ・大時計
- ・free wi-fi
- ・イルミネーション
- ・ネーミングライツ
- ・展示スペース
- ・市のイベント 各課との調整(後々問題が起きないように...)
- ・西 眺望 ギターの弾き語り ダンス 若者 アーティスト...etc



発表のポイント

- ・駅に物語を
- ・1つ選ぶとしたら2案がよいのでは
- ・イメージ図からすると、もう少し工夫したほうがよい

3班

案1

フレームはいらない(窓)

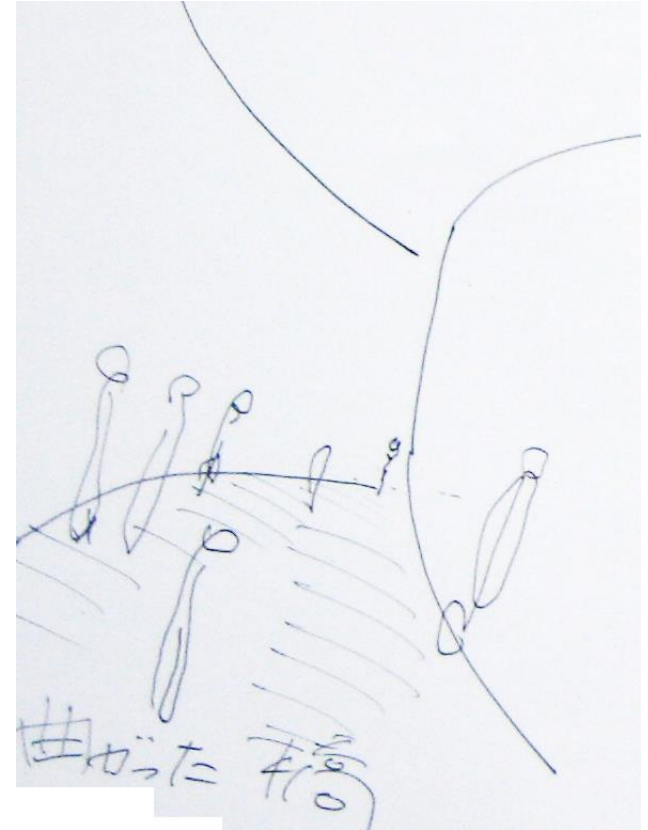
- ・案1～案3のいいところどりにする
- ・全体計画が先、都市機能も
- ・白とガラス←季節毎or成長する「緑」「経年」
- ・デザイン、テーマ←後の都市機能のじゃまをしないか？
- ・青森の海、山、空、木の温もり 過去⇔未来(連絡船)
- ・橋として考えること→ワクワクする橋
- ・内部空間としての意識を超える
- ・光と風、雪などの青森らしい自然環境をうけとめる橋
- ・ルーバー 窓 南→小さく 北→大(海側)
- ・白い壁 ガラス ルーバー ワクワクする動線 海風
- ・歩いて美しく 健康は橋に 青森らしさ 冬寒いこと 夏も短期暑い
- ・北窓はいいヨ、海が美しいヨ オブジェないす欲しい
- ・マニアがくる橋

案2

りんご箱はいらない

案3

船はいらない



発表のポイント

- ・市民が長く愛せるシンプルなデザインを表現
- ・四季折々の景観を見て楽しんでいただけるようなシンプルな機能

4班

案1

(賛成意見)

- ・よっかかって待つスペース

→たまり場がある！

・たまり場 サイズ

・A-factory、ベイブリッジとマッチしてきれいに見える

(反対意見)

・全体が白いので少し冷たさを感じる

・白い部分の汚れの蓄積が気になる

・近代的で県美のような雰囲気。特徴がないような・・・。

・「雪」のイメージはわざわざこしらえる必要がない位実際に体感できる。青森の人間にとって雪→克服するイメージ。外部の人間にとって雪→あこがれのイメージ。この相対するイメージを一つのデザインに集約するのはむずかしいのでは？

・白いと消える雪をよく見せる素材の方がいい

案2

(賛成意見)

・のぞき窓、こぼれる光のイメージはよいと思う

・青森の民・工芸品とのイメージマッチもよい

・ねぶたの灯りが木に反射することで更に温かさを感じられそう

・木材なので“こぎん刺し”“ねぶた”等を飾ってもマッチする

・駅前を通る人も木材の温かみを感じられる

・青森＝りんご、木＝いやし リンゴ箱のイメージはいいと思う

・小マドの眺め？

・イベント的に邪魔しないりんご箱

・木箱の部分を市民参加で仕上げる

(反対意見)

・高額になるのでは??

・木の温もり 駅周辺との調和？

・「木」とするとあちこちそういう重なるイメージの建物がある、そこをどう「青森イメージ」に近づけるか。

→青森のオリジナルが必要

案3

(賛成意見)

・赤 ワラッセのイメージ

・外観と中のギャップが良い

・ワラッセとの連動で一体的

・全て「まちづくり」の理想、理念に合致！
交通→まちづくり、文化、歴史、自然、四季

(反対意見)

・せっかく近くに市場も現存する、あまりに未来的な建築物になるのでは？

・あくまで「ほっとする感」が保たれない(駅が心のふるさと)

・鉄素材のイメージは冷たく感じられるものとならないか

・船とのつながりは内部で歴史写真の展示等程度でいいのでは

・近くに本物の連絡船がある中、駅に船デザインは必要か？

・船はいらない??

・景観の調和

・近未来のイメージが強い

・暗く見える、もう少し明るい色(見た目)がほしい

・ねぶた要素が既に取り入れられている→赤い壁はインパクトはあるが飽きがこないか・・・

・北側からの眺めを！！(青森駅ならではのながめ)

・まち歩き、観光コース、お店回りなど、

ブラぶらコースに入る自由通路！

(市内・市外・県内外・世界中から来る人のために)

・景観として通路建築物全て一体となる!?

・ギャラリーは誰のもの??どう使う、誰が使う、

誰が考え続ける?

・ただの通路ではない! ・自転車はどうしてもダメ??

発表のポイント

・2案か3案がよい

・まち歩きの観光コースの一つになるような通路になったらよい